

四條畷市 議会 だより



行政視察のようす（上：総務建設常任委員会、下：教育福祉常任委員会）

もくじ
主な
掲載内容

12月定例議会・第2回10月臨時議会のあらまし/人事案件/常任委員会行政視察報告	一般質問	6
12月定例議会審議結果	第10回議場コンサート開催のようす/次回定例議会のお知らせ	12

平成29年12月定例議会・第2回10月臨時議会のあらまし

平成29年12月定例議会は、12月1日から15日までの15日間として開会しました。

この定例議会では、9月定例議会において継続審査となつた平成28年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定をはじめ、市长から提出された、四條畷市立児童発達支援センター条例などの一部改正8件、くすのき広域連合規約の変更に関する協議、平成29年度四條畷市一般会計などの補正予算5件及び教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦に加え、議会から提

出された市長の専決処分事項の指定についての改正の審議を行い、すべて可決しました。

なお、平成29年度四條畷市一般会計補正予算(第6号)については、議員1名より修正案が提出されましたが、原案可決となりました。また、10月24日に第2回10月臨時議会を開催し、市长から提出された中野地区及び部屋地区における住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定及び平成29年度四條畷市一般会計補正予算(第5号)について審議を行い、いずれも可決しました。

また東京都荒川区では、子どもの貧困を発生させる原因を解きほぐしその問題の解決に資する施策を検討する「子どもの貧困・社会排除問題研究プロジェクト」をスタートさせその具体的な運営について視察しました。

また東京都葛飾区では、松上小学校と新小岩中学校が区内初の小中一貫教育校「新小岩学園」として開校し、小学校と中学校の円滑な運営や教員への負担など多方面にわたる内容を視察しました。

常任委員会が行政視察を実施

教育福祉常任委員会

(平成29年10月5日～6日)

茨城県神栖市では、これまで行っていた循環バスの運行から、利用者の減少、費用対効果等の観点から検討した結果、新たにデマンドタクシーを導入し、その具体的な運営内容を視察しました。

また千葉県市川市では、平成24年に空き家条例を施行し平成27年度からは「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行されたことに伴い、同法と併せ柔軟な対応を行っていることについて視察しました。

人 事 案 件

人権擁護委員の推薦

新たに河江文代氏を推薦することに同意しました。

教育委員会委員の任命

原知雅氏が、平成29年12月31日付けをもって辞職されることに伴い、その後任として小田みゆき氏を任命することに同意しました。



総務建設常任委員会 (平成29年10月5日～6日)

茨城県神栖市では、これまで行っていた循環バスの運行から、利用者の減少、費用対効果等の観点から検討した結果、新たにデマンドタクシーを導入し、その具体的な運営内容を視察しました。

また千葉県市川市では、平成24年に空き家条例を施行し平成27年度からは「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行されたことに伴い、同法と併せ柔軟な対応を行っていることについて視察しました。

平成29年第2回10月臨時議会審議結果一覧表

全会一致で可決した議案		概要(議案の説明)
新規条例	中野地区及び部屋地区における住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	中野地区及び部屋地区における住居表示の実施により町名を変更することに伴い公の施設等の位置を定める関係条例について所要の規定整備を行う。
補正予算	平成29年度四條畷市一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出予算それぞれ15,140千円を追加し、歳入歳出予算の総額を21,034,849千円と定める。



平成29年12月定例議会審議結果一覧表

○賛成、X反対、一採決参加せず

審議した議案と議員の賛否		結果	職能委員会			なわて政新会			市議会公明党			会派に属さない議員		
			長畠 造則	藤本 美佐子	島 弘一	大矢 克巳	吉田 裕彦	渡辺 裕	大川 泰生	曾田 平治	瓜生 照代	小原 達朗	森本 勉	岸田 敦子
決算	平成28年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定について (平成29年9月定例議会から継続)*P3に内容説明	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	X
条例改正	四條畷市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について *P4に内容説明	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	X
補正予算	平成29年度四條畷市一般会計補正予算(第6号) *P5に内容説明	修正案 原案	否決 可決	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○

全会一致で可決した議案		概要(議案の説明)
条例改正		四條畷市立児童発達支援センター条例の一部を改正する条例の制定について
		児童福祉法の一部改正に伴う引用条項の整備を行う。
		四條畷市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について
		監査制度の充実強化として監査専門委員の選任制度が創設されることなどに伴い、所要の改正を行う。
		四條畷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		育児休業に係る子が保育所等に入所できない場合について所要の措置を講じるため改正を行う。
		特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
補正予算		一般職の職員に準じた支給割合を改正した上、市長の任期の間は従前の支給割合を適用する。
四條畷市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		本年の人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ支給割合を改正する。
四條畷市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について		引用条項の整備を行う。
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		本年の人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ所要の改正を行うほか規定の整備を行う。
その他	くすのき広域連合規約の変更に関する協議について	規約を変更することについて協議を行う。
補正予算		平成29年度四條畷市一般会計補正予算(第7号)歳入歳出予算それぞれ10,140千円を減額し、歳入歳出予算の総額を21,216,956千円と定める。
		平成29年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)歳入歳出予算それぞれ10,561千円を追加し、歳入歳出予算の総額を8,623,985千円と定める。
		平成29年度四條畷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)歳入歳出予算それぞれ38千円を追加し、歳入歳出予算の総額を696,641千円と定める。
		平成29年度四條畷市下水道事業会計補正予算(第1号)収益的収支の収入では一般会計負担金及び補助金の増額を計上し、支出においては職員給与の改定及び人事異動による人件費の増減額などを計上する。
議会議案	市長の専決処分事項の指定について	地方自治法第180条の規定に基づく専決処分事項の改正
同意		教育委員会委員の任命について原 千雅氏が平成29年12月31日付けをもって辞職されることに伴い、後任として小田みゆき氏を任命する。
		人権擁護委員の推薦について新たに河江文代氏を適任と認め推薦する。

本決算において、職能委員会と西中の整備工事は設計・施工一括発注で行われた。この契約方法は市民の反対を押し切つてまでスケジュールありきで進めたが、指摘されてきた。そのような契約を行ったことは重大な問題であり、市民の声を聞かない政治姿勢が反映された中身であることから認められない。また学校配置の問題については、独立した機関である教育行政が中心となつ



反対

経常収支比率は93.5%、財政力指数は0.631となっています。

9万円に対し、収入済額が201億627万円で、収入率は92.4%、支出額は197億3473万6千円で、執行率は90.4%となり、翌年度に繰り越すべき財源が124万1千円あることから、実質収支は4億4029万3千円の黒字となりました。

なお、単年度収支は6929万4千円の赤字となりました。

本決算は、予算現額218億385万円に対し、収入済額が201億627万円で、収入率は92.4%、支出額は197億3473万6千円で、執行率は90.4%となり、翌年度に繰り越すべき財源が124万1千円あることから、実質収支は4億4029万3千円の黒字となりました。

平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定

本会議討論



て市民の意見を尊重する立場で進めてもらいたいと申し述べ、反対する。

のように市民の血税を使い、しかも競争性が担保されないものを行うことは、行政として避けなければならないと考える。

なわて政新会

(渡辺裕議員)



賛成

議会だより

歳入は人口減少が進む中、イオンの税収を除いても法人税割は平成20年と比較して実質的に1.9倍の税収増となり、明るい面も見受けられる。一方、

歳出は市民生活のため多くの予算が使われていることに高く評価する。しかし、今後の人口減、少子高齢化等多くの課題も抱えており、財政運営も歳を重ねるごとに厳しくなっていくことが決算の数字から見受けられる。

委員会において建設的な意見を上手く取り入れるよう要望し、賛成する。

反対

会派に属さない議員

(森本勉議員)



一般会計の決算規模は歳入歳出ともに昨年度を下回っており、その中でも実質収支については平成20年度から9年連続の黒字となっていることは高く評価する。財政力指数は改善したもの

の経常収支比率は悪化している。以上に職員一人一人がコスト意識をもつて財政運営に対し努力しつつ、市民満足度を高めるための施策を常に考え実行していくしかないと考える。

市民中心のまちづくりに職員が一丸となつて邁進することを要望し、賛成する。

賛成

市議会公明党

(瓜生照代議員)



反対

会派に属さない議員

(岸田敦子議員)



本決算においては、99%は市民生活において非常に大事な内容であり、大いに進めてもらいたいが、駿河と西中の問題については最初からデザインビル（設計と施工を一括で発注する）ありきで進められたものであり、当初のPFより7億円増と試算している。こ

四條畷市事務分掌条例の一部改正

市民ニーズや新たな行政課題に迅速かつ的確に対応できる機動的な組織体制を構築するため、組織機構の見直しを行うものです。



まちづくりができるよう財産基盤の強化、財政改革を進める」ことを要望し、賛成する。

歳入は人口減少が進む中、イオンの

税収を除いても法人税割は平成20年と

比較して実質的に1.9倍の税収増となっ

ており、明るい面も見受けられる。一方、

歳出は市民生活のため多くの予算が使

われていることに高く評価する。しかし、

今後の人口減、少子高齢化等多くの課

題も抱えており、財政運営も歳を重ねるごとに厳しくなっていくことが決算の

数字から見受けられる。

委員会において建設的な意見を上

手く取り入れるよう要望し、賛成する。

躍ビジョンの会

(長畠浩則議員)



賛成

歳入は人口減少が進む中、イオンの

税収を除いても法人税割は平成20年と

比較して実質的に1.9倍の税収増となっ

ており、明るい面も見受けられる。一方、

歳出は市民生活のため多くの予算が使

われていることに高く評価する。しかし、

今後の人口減、少子高齢化等多くの課

題も抱えており、財政運営も歳を重ねるごとに厳しくなっていくことが決算の

数字から見受けられる。

委員会において建設的な意見を上

手く取り入れるよう要望し、賛成する。

る方が徴収率向上に寄与する可能性が高い。徴収効果額の一部を保育に還元し、他の市民との公平性の確保を要望し、賛成する。

平成29年度四條畷市一般会計補正予算(第6号)

(原案)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それ

ぞれ1億9224万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出とも212億2709万6千円と定めるもの

です。

(修正案・瓜生照代議員提出)

来年3月開催予定の「正行シンポジウム」の事業名に特定の営利企業の名を冠することについて、報道機関は公正公平を旨としながらも特定固有の政治理念をもって活動する団体でありそれに与するような公共事業を地方公共団体が行うことは適切を欠くことになると思われることから当該事業実施にかかる予算額を歳入歳出から除くものです。

修正案賛成

会派に属さない議員
(岸田 敦子議員)



原案賛成 修正案反対
(長畠 浩則議員)

原案賛成 修正案反対
(吉田 裕彦議員)

は、産経新聞と共催で開催するとして強調して当選された。そのことを貫くためにも正行シンポジウムは従来どおりの事業として実施するよう求め、修正案に賛成する。

については、歴史的事象や人物はその後の時代にかけられた偏見を排すことでも正しい姿が見えてくるという基本姿勢が非常に明らかな事業である。一部で心配されている国家権力強化に賛同するような文言も何一つない。よつて今回のシンポジウムを産経新聞と共催することは非常にふさわしいものではないかと考え、原案に賛成し修正案に反対する。

本補正予算の主なものは、人事院勧告による人件費の総額や異動によるものであり、それに加え債務負担行為である南中の敷地内における活断層調査に係る経費である。その工事内容もボーリング調査の後、より正確な調査を行うためトレンチ調査を行うもので、適正であると判断し、原案に賛成し修正案に反対する。

一方、正行シンポジウムについては民間の事業者また国における明治150年記念事業とのタイアップと本市をアピールする機会もあるので、相乗効果が生まれるよう詳細な企画・立案を願い原案に賛成し修正案に反対する。

会派に属さない議員

(森本 勉議員)



原案賛成 修正案反対

今回6回目の楠木正行シンポジウム

修正案の内容に含まれる正行シンポジウムを産経新聞社と共催することに



点字議会だより・声の議会だよりを発行しています

本市議会では、視覚に障がいのある方のために「点字議会だより」を発行しています。また、音声による「声の議会だより」も発行していますので、利用を希望される方は、議会事務局までお申し込みください。



[一般質問]

平成29年12月定例議会

議論・ビジョンの会 長畠 浩則議員



50周年記念事業について

50周年記念事業の考え方と進め方は。

政策企画部長 次の半世紀を見据えたテーマを設定の上、式典の挙行はもとより、後世に形を残す事業や四季折々のイベントに加え、住民自治のなう一層の確立をめざし、市民主体あるいは市民、行政協働の企画を盛り込みたく考えている。この趣旨に即して、庁内若年層職員で組むプロジェクトチームを立ちあげたところであり、市制施行50年の平成

ムで確認し、本市が設けようとする市民との協働を趣旨に置く枠組みと照らし合わせ、年度内には本市として一定の判断を行う。

保育園の定数について

本市にある認定こども園5園のうち定員割れが3園、定員数と同じが1園、定員オーバーが1園。ま

⑦ 島 弘一議員

- 1.市内の全域における樹木の管理について
- 2.四條畷市内の地区別に想定される災害の原因と対策について

⑧ 瓜生 照代議員

- 1.ふるさと納税について
- 2.2025年問題を見据えた地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度(くすのき広域連合)のあり方について
- 3.がん教育の推進について

⑨ 森本 勉議員

- 1.楠木親子の顕彰を通じた四條畷市の活性策とアイデンティティー確立への道について
- 2.公共事業契約について
- 3.図書館利用者の利便性向上策について
- 4.路上喫煙禁止条例・マナー条例制定について
- 5.商店街の駐輪場対策について
- 6.議会中継放送の実現について

⑩ 岸田 敦子議員

- 1.子育て施策について
- 2.教育環境整備事業・計画について
- 3.まちづくり長期計画の決定過程について

⑪ 渡辺 裕議員

- 1.教員の働き方改革について

① 長畠 浩則議員

- 1.50周年に向けた市史の進捗状況について
- 2.50周年記念事業について
- 3.保育園の定数について
- 4.緊急時の避難所について

② 吉田 裕彦議員

- 1.市道の整備について

③ 藤本 美佐子議員

- 1.小中連携・一貫教育について
- 2.保育所等(2号・3号認定)申込受付の対応及び庁内施設整備の改善について

④ 大川 泰生議員

- 1.災害から市民の暮らしと命を守るために防災対策の具体的な取り組みについて
- 2.市の保育所待機児童解消をめざす取り組みについて

⑤ 小原 達朗議員

- 1.災害時における避難所などのお湯等飲料の確保と災害協定の推進について
- 2.認知症初期集中支援チームについて
- 3.市のホームページのバリアフリー化について
- 4.人口減少対策について

⑥ 大矢 克巳議員

- 1.総合公園について
- 2.忍ヶ丘あおぞらこども園について
- 3.自主財源増加に向けての取り組みについて

12月14日と15日の2日間で、11人の議員が行いました。青色の項目はその概要を掲載しています。

☆ 地元経営者等連名で、50周年事業を進めるにあたり市民と行政が協働で取り組んではどうかという市への提案があつたと聞くが。向である。

政策企画部長 12月12日付、連名で提案を頂いた。その概要は地元を愛する住民が主役となり未来の四條畷市を創り上げていくため、企画の準備段階から組織を設立したいとの意向が示されており、市民発意に心から感謝する。

まずは内容をプロジェクトチー

32年度を時間軸に年度を追うごと盛り上がるような仕掛けとその推進体制の枠組みを議論していく意向である。

☆ 地元経営者等連名で、50周年事業を進めるにあたり市民と行政が協働で取り組んではどうかという市への提案があつたと聞くが。向である。

健康福祉部長 3歳未満児は全園とも定員を満たしているが、3歳以上児については定員に満たない園が半数以上ある。

☆ 3歳以上児が定員に満たないなら全体の年齢バランスや施設の設置基準を考慮しながら低年齢へとすることとは無理か。

健康福祉部長 定員の見直しは今まで行っており今後も状況により必要になつてくると考えている。



なわて政新会 吉田 裕彦 議員



職ビジョンの会

藤本 美佐子 議員



市道の整備について
★ イオンモールがオープンし、砂の狭隘な道を多くの車両が通っていることから、砂1号線の道路調査をしてはどうか。

都市整備部長 狹隘な地区における市道の整備計画については、既存の道路の機能保全及び子どもたちの安心安全な通学路の確保を趣旨に、道路施設総合維持管理計画、通学路交通安全プログラムを策定し優先順位を設け、交付金を活用し順次整備を進めている状況にある。砂1号線についても補修並びに通学路のグリーンベルト等の計画がこの2つの計画の中に織り込まれている。



どちらも砂1号線、地道のデコボコ状況(上が西に向かって、下が東に向かって)

に沿って走る市道砂1号線は、写真のようにデコボコ状態である。

保育所等(2号・3号認定)申込受付の対応及び庁内施設整備の改善について

★ 新年度の保育所申込みが始まつたが、玄関外で長時間受付を待つ市民のため、期日前投票時のようにスペースを設けた上で、他課に応援を依頼し短時間で受付を済ませるようにしてはいかがか。

健康福祉部長 現在、来年度の実施に向け先着順での受付方法を改め、並ぶ必要のない方法を検討している。先着順でなければ初日に受付が混み合わず、他の場所で受付を行うような配慮も必要はないかと考えている。

★ 保育所申込みに行きたいが急に子どもが熱を出すなど、来庁でききない方もいる。子どもを預けられる方、預けることができない方など不公平も生じる。

★ 保育所申込みに行きたいが急に子どもが熱を出すなど、来庁でききない方もいる。子どもを預けられる方、預けることができない方など不公平も生じる。

砂1号線のデコボコについてどのように考へているのか。

都市整備部長 車両や歩行者並びに自転車が安心安全に通るため定期的に市道の道路整備は行っている。またイオンモールがオープンして2年経過し、地域の状況も一定安定の見定めができたことから、今後は地域のご意見を踏まえながら整備内容を検討していくことを考へている。

★ 市民のみなさんが利用される市役所本館1階の2か所のトイレ、また東別館の1か所のトイレに「ベビーチェア」を設置するよう要望する。

★ 市民のみなさんが利用される市役所本館1階の2か所のトイレ、また東別館の1か所のトイレに「ベビーチェア」を設置するよう要望する。



府舎内トイレに設置を要望した「ベビーチェア」

添付書類が整った状態での選考となるので、窓口に来ていただく手間は変わらないと考えている。

★ 寒い時期に前日夜から並んでいた方もいたと聞いている。次回の申込み時には、市民を玄関外まで並ばせることのないように対策を講じるよう要望する。

なわて政新会 大川 泰生 議員



災害から市民の暮らしと命を守るために防災対策の具体的な取り組みについて

市が管理する防災用倉庫は田原小、くすのき小、忍小、国道16号線高架下、市役所の5か所と聞いているが、南野地区、楠公米崎地区、江瀬美雁屋地区等の空白地域への増設は検討していないのか。

都市整備部長 防災用倉庫は各避難所への物資提供を本旨に有事に備えた危険分散を図り速やかに指定避難所へ物資等を配達するため設置している。

防災用倉庫が未設置の指定避難所、とりわけ小学校に一定の備蓄品を配備することは防災体制の強化に結び付くことから備蓄スペースの確保に向け各小学校、教育委員会と協議を進めている。

雁屋地区の場合、四條畷高校に設置してどうか。

都市整備部長 早期に備蓄ができるよう大阪府と相談したい。

市の保育所待機児童解消をめざす取り組みについて

11月1日現在の待機児童数は入所保留児童も含め62人と聞いている。待機児童解消のため保育士



市議会公明党 小原 達朗 議員



の本市独自の処遇改善や企業主導型保育事業等について見解を伺う。

健康福祉部長 本市独自の処遇改

善の実施については近隣市の状況を踏まえ、本市の財政状況、施設側の意見等も総合的に勘案しながら実施の有無を検討していく。

また企業主導型保育所の設置については、市を通さず大阪府へ届出するものであり本市の子ども子育て支援事業計画の枠外の設置とな

る。しかし田原地区については保育施設が1か所のみであるので、重点的に施設整備も含めた対策を講じていきたいと考えている。

健康福祉部長 他市においては、市独自で処遇改善を行っているところもある。本市としても、もっと前向きに考

えていくべきと思うがどうか。

健康福祉部長 本市も子育て支援プロジェクトを立ち上げ色々な施策の検討を行っており、処遇改善も含め全体的に何が一番適しているか検討していきたい。

都市整備部長 1階の自販機は災害時無料で提供できる協定を結んでいる。

教育部長 福岡県の古賀市においては、災害時の指定場所となる小学校では、PTAの合意があれば自販機の設置を認めたこととした。設置

教育部長 災害時には一定効果はあるが、平常時の管理運営上、また児童・生徒への指導上の観点から、現状多岐に及ぶ協議が必要であると考えている。

人口減少策について

人口を増やす方法の一つは自

然増である。出生数の増加と死亡数の減少によるが、自然増の対策としてどのような点に注目して施

政策企画部長 人口の自然増に向けて出生率に働きかける取り組みが不可欠との認識から、若い世代の結婚、出産、子育ての希望が叶う環境の整備に着眼のうえ、府内組織を中心に積極的な検討にあたつ

都市整備部長 本庁1階、東別館1階の自販機は災害時無料で提供できる協定を結んでいる。

教育部長 福岡県の古賀市においては、災害時の指定場所となる小学校では、PTAの合意があれば自販機の設置を認めたこととした。設置

政策企画部長 これらに留まらず平成30年度上半期に改訂予定の総合戦略の中、直

接的な効果を呼ぶ取り組みを複数にわたり設け、成果を意識しながらの実践へと進めていく考えである。

教育部長 ええ、既存住民を対象に転出を抑制し、潜在住民を対象に転入を促進するという社会増に対してはどうの

政策企画部長 ええ、既存住民を対象に転出を抑制し、潜在住民を対象に転入を促進するという社会増に対してはどうの

教育部長 ええ、既存住民を対象に転出を抑制し、潜在住民を対象に転入を促進するという社会増に対してはどうの

政策企画部長 え

会派に属さない議員 岸田 敦子 議員



なわて政新会 渡辺 裕 議員



子育て施策について

★ 四條畷南小学校区の朝食支援事業の検証結果は。

教育部長 本事業は、子どもの朝食摂食率の低さに伴う学習への集中力欠如や体力低下の改善を趣旨に平成29年1月から実施しているが、アンケート調査の結果、教員からは「学習に集中する姿勢や気持ちの安定が見られる」、児童からは「朝から元気が出る」、保護者からは「値上げされても利用したい」等の意見があり一定の成果を得たと考えている。

★ 最近は事業継続が危ぶまれていると聞く。どういった状況か。

教育部長 運営団体へは12月まで経済的な支援や物的支援を行つてきただが、平成30年1月からの団体の自主運営についての交渉の中で、運営団体より1月からの3ヶ月間休止の申し出があった。

★ 自主運営をめぐり行き違いがあつたと聞いている。補助金を出さないことについて意思疎通はできていたのか。

教育部長 そのあたりはしっかりと内容を提示している。

★ そこで行き違があるといふふうに聞いている。この1年間ほとんどボランティアに近い形でこの朝食支援事業を行つてこられ、子どもも先生も事業の成果を評価し、継続を望んでいる。子どもたちのためにも継続できないか。

教育長 今後は本事業の継続に向け、運営方法などに関し、運営団体と引き続き協議に努めていく所存である。

★ 繼続を望む声がある中、補助金の打ち切りにより休止も仕方ないとなるのは残念である。運営団体と折り合いをつけ、何とか継続するよう要望する。

教育環境整備事業・計画について

★ 市民から中野本町の校区変更案取下げに関する陳情書が提出された。中野本町の児童は岡部小学校区も選択可とした理由は。

教育部長 平成29年1月の総合教

育会議で四條畷小学校を廃校しない方向となり、現教育環境整備計

画との差異が生じたため、子ども

の心的負担を最小限に軽減し、子

どもや保護者が二ースに合わせて

学校を選択できるよう、中野本町

地区については校区選択制の実施を決定した。

教員の働き方改革について

★ 中学校教員の平均残業時間は。

教育部長 平成28年度実績で1月あたり69時間である。

★ O E C D 加盟国の34か国の中で、日本の教員の勤務時間はどれくらいの位置づけか。

教育部長 34か国中最長となつて

いる。

★ 体育系部活の休日は週に何日あるか。

教育部長 ノークラブデーを週1回以上設定の上、各校の実情に応じ対応している状況である。

★ 部活の参加率は。

教育部長 中学校4校の平均が

82.9%である。

★ 部活は生徒の自主的、自発的な参加により行われるという認識でよいか。

教育部長 平成28年度の文科省の統計で

中学校教員の学内勤務時間が11時

間32分であるのに対し、民間の平

均在社時間は9時間15分であり、

2時間以上開きがある。また、過労死ラインの月80時間超の残業を行

う割合は、地方自治体の一般行政

職職員の1.1%に対し、中学校教員は57.6%である。これは、夏休み中の8月を除くと、70%、80%になると予測できる。

★ 中学校教員の平均残業時間は。

教育部長 平成28年度実績で1月

あたり69時間である。

★ 体育系部活は、1日2時間の部活を週6日行うとすると年間活動時間は625時間と推測できるが、

それに対し、国語と国数英理社5

科目の標準授業時間の合計はそれ

ぞれ何時間か。

教育部長 国語は140時間、5科目合計は630時間である。

★ 部活も大切な活動だが、中学校における部活動の占める割合が想像以上に大きくなっている。

教育部長 本市で進めている働き方改革の趣

旨は、「長時間労働の是正やワーク

ライフバランスを実現する働きや

すい職場環境を構築する」となっ

ているが、その対象には小中学校

も含まれるのか。

教育部長 現状、含まれない。

★ 働き方改革を一般行政職だけにとどめず、小中学校にも波及させてほしい。まず教員の労働時間の実数を記録し、問題点を客観的に把握の上、教員の働き方改革を進めてもらいたい。

第10回 議場コンサートを開催

市民のみなさまに市議会と市政への関心を深めていただくことを目的に、平成29年12月14日(木曜日)に第10回議場コンサートを開催しました。

今回は四條畷学園高校2年生の飯田華那さんにご出演いただきました。

飯田さんは平成29年5月に青森県で行われた津軽三味線世界大会C級部門で敢闘賞を受賞され、現在も市内・市外のさまざまなイベントに多数出演されています。

コンサートでは、飯田さんによる「十三の砂山」などの三味線の演奏があり、激しい音色や哀愁漂う悲しげな音色など、津軽三味線の幅広い音色で素晴らしい演奏を聴かせていただきました。続いて米谷流大師範でもある米谷大輔さんの尺八との共演では観客のみなさまは三味線と尺八の心に響くハーモニーを堪能されていました。

また三味線と尺八に加え、隅田美夢さんと山下喜暉さんによるダンスとの共演で洋楽に合わせて演奏されたり、東市長が鈴で演奏に参加したりと、短い時間ではありましたが、途中笑いや手拍子が起こるなど観客の皆さまは心温まる楽しい時間を過ごされました。公演終了後には曾田議長の挨拶があり、盛況のうちに議場コンサートは終了しました。



2月定例議会の予定

■本会議

- 2月23日(金)初日:市政運営方針演説・議案審議
- 3月 7日(水)2日目:代表質問・議案審議
- 3月22日(木)3日目:付託議案の採決・一般質問
- 3月23日(金)最終日:一般質問

◎日程は変更される場合がありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
TEL 072-877-2121(代表)
TEL 0743-71-0330(代表)(内線222)

市のホームページで会議録がご覧になります

市ホームページの「四條畷市議会」のコーナーから、定例会・臨時会の本会議の会議録等がご覧いただけます。

12月定例議会の会議録の掲載は、3月中旬の予定です。

ホームページアドレス <http://www.city.shijonawate.lg.jp/>



委員会の予定

■教育福祉常任委員会

3月8日(木):付託議案の審査

■総務建設常任委員会

3月9日(金):付託議案の審査

■予算決算常任委員会

3月12日(月):付託議案の審査

13日(火)

14日(水) 一般会計予算の審査

15日(木)

時 間:原則10時から

場 所:本会議は議場(市役所本館3階)

委員会は委員会室(市役所本館3階)

委員会は委員会室(市役所本館3階)

議会傍聴のご案内

本会議・委員会はどなたでも傍聴することができます。市民から選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴におこしください。

手続きは、本会議・委員会の当日、議会事務局に申し出るだけですので、とても簡単です。



平成29年12月定例議会の傍聴者数は、延べ31人でした。

議会だより第190号一般質問の正誤表

議会だより第190号、渡辺 裕議員の一般質問におきまして答弁に誤りがありましたので、お詫びし、右記のとおり訂正いたします。

11頁 1段目3行目

正 中学校が1人、小学校が4人合計5人である。 **誤** 中学校が4人、小学校が1人合計5人である。

